

課 長		副 課 長		係 長		審 査		設 計	
--------	--	-------------	--	--------	--	--------	--	--------	--

国補

令和 元 年度 頸城中部地区農業集落排水処理施設機能強化対策 工事（~~実~~施~~更~~）設計書

農集機能頸工第31-1号	工事日数	日間	令和 年 月 日 から 令和 2 年 2 月 2 8 日 まで
実施元設計額		円	施 工 地 名  上 越 市 頸城区百間町 地 内
変更設計額		円	
実施元請負額		円	
変更請負額		円	
実施元設計概要	処理施設機能強化工事 機械設備工事 N=1式		

新潟県上越市

# 位置図



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(空間データ基盤)及び基盤地図情報を使用した。(承認番号 平26情使、第204号)

# 頸城中部地区農業集落排水処理施設機能強化対策工事

特 記 仕 様 書

## 施工条件総括表

下記項目、事項のうち○印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。  
 なお、明示事項に変更が生じた場合明示されていない制約等が発生したときは、監督員と協議し、適切な措置をこ  
 ざるものとする。

明示項目	施 工 条 件
I 工程関係	1 関連する別途工事あり 工事名： 工事名： 予定期間：
	2 施工時期、時間、方法の制限あり 時期： 時間： 方法：
	3 関係機関協議による工程条件あり 協議内容： 完了予定時期：
	④ その他 今後近接する工事が発注された場合、その工事との工程調整及び施工方法を協議すること
II 用地関係	1 工事用地等の未処理部分あり 処理見込時期： 区間：
	2 仮設ヤードの指定あり 場所： 期間：
	3 その他
III 公害対策関係	1 公害防止の制限あり（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等） 施工方法： 作業時間：
	2 家屋等の調査の必要性あり 方法： 範囲：
	3 その他
IV 安全対策関係	1 交通安全施設等の指定あり 交通誘導員：  その他施設等：
	2 近接作業制限あり（鉄道、ガス、水道、電気、電話等） 内容： 工法制限： 作業時間制限：
	3 発破作業あり 保安設備及び保安要員 防護工： 作業時間制限：

IV 安全対策関係	4 防護施設 (落石、雪崩、土砂崩落等) 内容：
	⑤ その他 交通誘導員については、警察等関係機関との協議により交通処理方法等の変更が生じた場合や現地の状況により、これによりがたい場合は監督員と協議すること。
V 工事用道路関係	1 一般道を搬入路としての制限あり 搬入経路： 期間： 使用後の措置：
	2 一般道路の占有 期間： 規制条件： 時間制限：
	3 仮設道路設置 工法指定の有無： 用地関係： 安全施設： 工事完了後の「存置」または「撤去」：
VI 仮設備関係	1 仮設備の指定あり 内容：
	2 仮設備の条件指定あり 内容：
	3 仮設備の転用、兼用あり 工種： 内容：
	4 イメージアップあり 内容：
	5 その他
VII 残土・産業廃棄物関係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり
VIII 工事支障物件等	1 占有支障物件あり (電気、電話、水道、ガス等) 内容： 移設、撤去、防護方法等： 時期：
	2 占有物件重複施工あり 内容：

VIII 工事支障 物件等	3 その他				
IX 排水工 (濁水処理 含む)	1 濁水。濁水処理の特別な対策あり 内容：				
X 薬液注入関係	1 薬液注入工法あり 別紙条件明示による				
XI その他	① 現場発生材あり 品名：撤去機器 納入場所：頸城中部処理場 監督員と処理場保管または処分について協議により決定する。				
	2 支給品および貸与品あり 品名： 引渡し場所：				
	3 その他				
XII 排出ガス対策 型建設機械	<p>1 本工事において以下に示す施工機械を使用する場合は排出ガス対策型建設機械指定要綱に基づき指定された建設機械を使用するものとする。</p> <p>なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設省技術評価制度公募課題技術の技術審査・証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用することで、排出ガス対策建設機械と同等とみなすものとする。ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い提出するものとする。なお、指定機械であることを識別するラベルが添付されているので、確認できるように撮影すること。</p> <table border="1" data-bbox="438 1388 1404 1971"> <thead> <tr> <th>機 種</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           バックホウ            トラクタショベル（車輪式）            ブルトーザ            発動発電機（可搬式）            空気圧縮機（可搬式）            油圧ユニット類            以下に示す基礎用機械のうち、ベースマシンまたは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの。            〔油圧ハンマ・バイプロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機            油圧式杭圧入引抜機・アースオーガ・オールケーシング掘削機械・リバースサーキュレーションドリル・アースドリル・地下連続壁施工機・全回転型オールケーシング掘削機〕            ローラ類（ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ）            ホイールクレーン         </td> <td>           ディーゼルエンジン            （エンジン出力7.5            kW以上260kW以下）            を搭載した建設機械            を対象とする。         </td> </tr> </tbody> </table>	機 種	備 考	バックホウ トラクタショベル（車輪式） ブルトーザ 発動発電機（可搬式） 空気圧縮機（可搬式） 油圧ユニット類 以下に示す基礎用機械のうち、ベースマシンまたは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの。 〔油圧ハンマ・バイプロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機 油圧式杭圧入引抜機・アースオーガ・オールケーシング掘削機械・リバースサーキュレーションドリル・アースドリル・地下連続壁施工機・全回転型オールケーシング掘削機〕 ローラ類（ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ） ホイールクレーン	ディーゼルエンジン （エンジン出力7.5 kW以上260kW以下） を搭載した建設機械 を対象とする。
機 種	備 考				
バックホウ トラクタショベル（車輪式） ブルトーザ 発動発電機（可搬式） 空気圧縮機（可搬式） 油圧ユニット類 以下に示す基礎用機械のうち、ベースマシンまたは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの。 〔油圧ハンマ・バイプロハンマ・油圧式鋼管圧入引抜機 油圧式杭圧入引抜機・アースオーガ・オールケーシング掘削機械・リバースサーキュレーションドリル・アースドリル・地下連続壁施工機・全回転型オールケーシング掘削機〕 ローラ類（ロードローラ・タイヤローラ・振動ローラ） ホイールクレーン	ディーゼルエンジン （エンジン出力7.5 kW以上260kW以下） を搭載した建設機械 を対象とする。				

## 「週休２日取得モデル工事」特記仕様書

本工事は、上越市「週休２日取得モデル工事」の試行対象案件である。

受注者は、受注後速やかに「週休２日取得モデル工事」希望の有無について、打合せ簿により監督員と協議を行うものとする。

協議により試行する場合は、『「週休２日取得モデル工事」試行実施要領』に基づき行うものとする。

# 頸城中部地区農業集落排水処理施設機能強化工事特記仕様書

## 目 次

### 第 1 章 総 則

- 第 1 節 計画概要
- 第 2 節 計画主項目
- 第 3 節 雑 則
- 第 4 節 材料及び機器
- 第 5 節 保 証
- 第 6 節 工事記録 写真撮影
- 第 7 節 提出図書
- 第 8 節 検査及び試験
- 第 9 節 正式引渡し
- 第 10 節 その他

### 第 2 章 機械・電気設備工事

- 第 1 節 機械設備工事



## 第 1 章 総 則

本仕様書は、新潟県上越市(以下「発注者」)が発注する、頸城中部地区農業集落排水処理施設機能強化対策工事に適用する。

### 第 1 節 計画概要

#### 1. 一般概要

この工事は、農業集落排水事業 頸城中部地区の污水处理施設における、機能強化対策(機械設備工事)である。

#### 2. 工事場所

新潟県上越市 頸城区百間町地内 (頸城中部地区処理場)

#### 3. 施設規模

(1) 計画処理対象人員	2530人
(2) 計画汚水量	683.1m <sup>3</sup> /日 (日平均汚水量) 82.23m <sup>3</sup> /時 (時間最大汚水量)
(3) 計画水質	BOD 200mg/L (流入水質) BOD 20mg/L (放流水質)
(4) 処理方式	回分式活性汚泥方式 JARUS-XIV型

#### 4. 仕様書の遵守

本仕様書に記載していない一般事項については、次の仕様書に従うものとする。

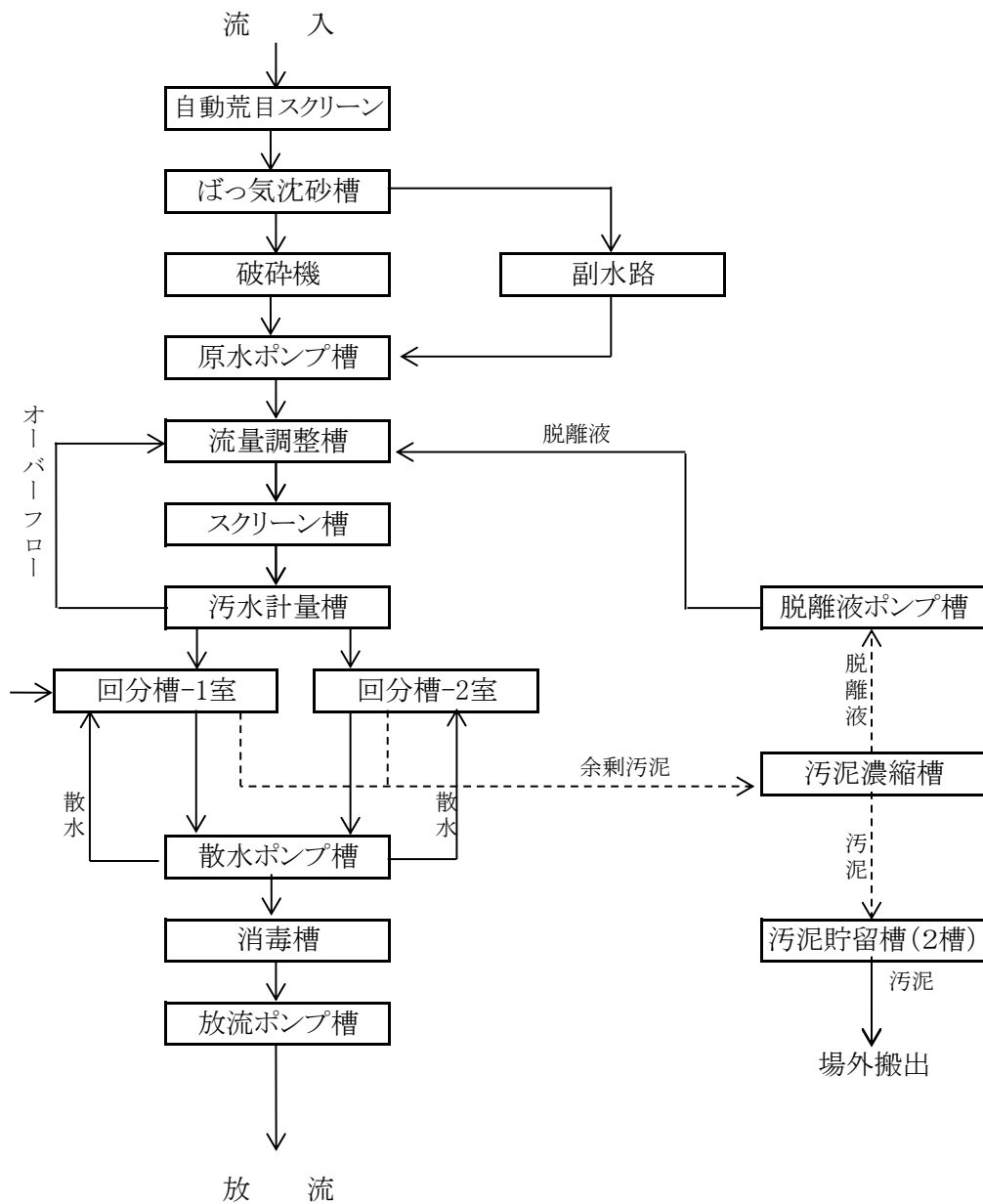
- ・国土交通省大臣官房官庁営繕部監修  
「公共建築工事標準仕様書」  
(建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編) 最新版  
「公共建築改修工事標準仕様書」  
(建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編) 最新版
- ・新潟県 農地部  
「農業土木工事標準仕様書」 最新版
- ・農業集落排水事業諸基準等作成全国検討委員会  
「農業集落排水施設施工指針 污水处理施設編(案)」  
「農業集落排水施設検査・施工管理指標(案)」
- ・JARUS  
「日本農業集落排水協会型 施設機械等標準仕様(案)」

## 第 2 節 計画主項目

### 1. 処理能力

計画処理対象人員			2530人
計画日平均汚水量			683.1 m <sup>3</sup> /日
計画時間最大汚水量			82.23 m <sup>3</sup> /時
計画流入水質	流入水質	BOD	200 mg/ℓ
		SS	200 mg/ℓ
	処理水質	BOD	20 mg/ℓ
		SS	50 mg/ℓ

### 2. 処理工程



### 3. 処理装置概要

#### (1) 全体計画

本施設は、衛生的で経済的、かつ、処理効果の十分な施設で地域の環境保全、公害防止を図るため、設備を更新・改築し機能を強化する施設とする。

#### (2) 運転管理

本施設の運転管理は、安全性、作業性を考慮し、各工程を能率化し、人員及び経費の削減を図るものとする。

#### (3) 安全衛生管理

作業環境については、関係法規を基に薬品等の危険物を扱う場所は、安全対策を十分考慮し、快適な作業環境とする。

#### (4) 設備概要

汚水は自動荒目スクリーン、ばっ気沈砂槽、破碎機、原水ポンプ槽をへて流量調整槽へ流入する。

汚水中の大きな夾雑物及び土砂を除去するために、自動荒目スクリーン及びばっ気沈砂槽を設け、残留夾雑物を微細に裁断するために破碎機を設けている。尚、破碎機の保守点検或いは故障時のために、細目スクリーンを設けた副水路をバイパスとして設置しており、汚水は原水ポンプにて流量調整槽へ揚水している。

流量調整槽では汚水を一旦貯留して水量と水質の均一化を図り、汚水中の微細な夾雑物を微細目スクリーンで除去後、一定量の汚水を計量する汚水計量槽を抜けて回分槽流入工程に合わせて移送する。

回分槽は、「流入・ばっ気攪拌・沈殿・排出」の各工程を経て、汚水中の汚濁物質を吸着、酸化、分解する生物反応槽である。

沈殿工程では、汚水中の浮遊物質を沈殿除去し、更に排水工程では処理水を流出管を経て、散水ポンプ槽へ移送する。沈殿させた汚泥は、汚泥引抜ポンプにて余剰汚泥として汚泥濃縮槽へ移送する。

散水ポンプ槽は、回分槽へ散水・消泡するための処理水を一時貯留するためのものである。散水ポンプ槽を経た処理水は、消毒槽で滅菌薬剤と接触させて、放流ポンプ槽へ流出する。

放流ポンプ槽は、処理水を一時貯留し、放流ポンプにて放流先へ圧送するためのものである。

回分槽から引き抜いた余剰汚泥は汚泥濃縮槽にて濃縮後、脱離液は流量調整槽へ排出し、濃縮汚泥は汚泥貯留槽に移送して貯留後、バキューム車にて場外搬出するものとする。

### 4. 工事範囲

本仕様書で定める工事の範囲は次の通りとする。

また、本工事と別途工事との取合については、設計図書によるものとする。

#### 1. 機械工事

### 5. 工事数量

別添の工事数量表の通りとする。

### 第 3 節 雑 則

#### 1. 適用範囲

- (1) 本仕様書は、本施設の性能補償完了に至るまでの基本事項を示すものであり、本仕様書に明記されていない事項であっても、施設の目的達成の為に必要な施設、又は工事の性質上当然必要と思われるものについては、設計図書に明示されていない事項でも工事受注者(以下「受注者」と言う)の責任において全て完了しなければならない。
- (2) 特許並びに実用新案等の関係法令に抵触するものは、受注者の責任において処理するものとする。

#### 2. 疑 義

本仕様書及び設計図書について、工事期間中に疑義の生じた場合は、受注者は発注者と協議し、その指示に従うものとする。

#### 3. 変 更

- (1) 本仕様書(添付資料を含む)は、原則として変更は認めないものとする。但し、発注者の指示等により変更する場合にはこの限りでない。
- (2) 本施設の建設に当たって、変更の必要性が生じた場合、発注者の定める契約事項によるものとする。

### 第 4 節 材料及び機器

使用材料及び機器は、全てそれぞれの用途に適合する欠点のない製品で、かつ全て新品とし、日本工業規格(JIS)、日本水道協会規格(JWWA)、電気規格調査会規格(JEC)、日本電気工業会規格(JEM)等の規格が定められているものは、これらの規格品を使用しなければならない。

なお、発注者が指示した場合は使用材料及び機器等の立会検査を行う。

工場製作するものについては、製作図面を作成し、監督員の承認を得て製作するものとし、完成品の検査については社内の検査担当者による製品検査を実施して検査合格後、検査成績書を監督院に提出し承認を得るものとするが、監督員の指示があった場合は発注者の指名検査担当者による工場検査を行う。

電動機、ポンプ、ブロワ等の汎用機器類については、製作者の検査成績書及び合格書により検査するが、監督員の指示があった場合は検査担当者による製作工場検査としなければならない。

### 第 5 節 保 証

#### 1. 保証期間

本施設の保証期間は、正式引渡しの日(竣工検査日)より1年間とする。

ただし、消耗品については、この限りではない。

## 2. 機器保証

各機器は、消耗品を除いて、保証期間中に受注者の責任である故障、破損等は受注者の負担にて速やかに補修改善、又は取替えを行わなければならない。

ただし、管理業者の誤操作及び天災等の不足の事故に起因する場合はこの限りではない。尚、工事期間中における天災その他不可抗力による障害については、上越市建設工事請負契約基準約款によるものとする。

## 3. 試運転及び技術指導

### (1) 試運転

- ・ 工事完了後、工期内に試運転を行うものとする。
- ・ 試運転は、受注者が発注者と予め協議の上、作成した実施要領書に基づき、発注者と受注者の両者で行うものとする。
- ・ 試運転の詳細については、現況により発注者が指示する。
- ・ この期間に行われる調整及び点検には発注者の立会を要し、この期間に発見された補修箇所及び物件については、その原因及び補修内容を発注者に報告しなければならない。

### (2) 技術指導

- ・ 受注者は、発注者の関係職員に対して、施設の円滑な操業に必要な機器の運転、管理及び取扱いについて、教育指導計画書に基づき、必要にして十分な教育と指導を行うものとする。  
尚、教育指導計画等は受注者が作成し、発注者の承諾を受けなければならない。
- ・ 運転指導期間は、検査終了後1週間とする。
- ・ 運転指導期間は実負荷流入後にて行うことを原則とする。

### (3) 経費負担

- ・ 発注者への引渡し以前に要する経費は受注者の負担とする。

## 第 6 節 工事記録 写真撮影

工事の施工順序に従い、必要に応じ又は監督員の指示により記録写真を整理し、工事完了後提出しなければならない。

- (1) 工種別に施工前、中、後の写真は同一方向から対比できるように撮影する。
- (2) サイズは、サービス判の大きさを標準とする。
- (3) 写真帳の大きさは、A4アルバムとする。
- (4) 写真撮影後、フィルム撮影の場合はネガブックにベタ焼き整理し、デジタルカメラ撮影の場合はフォト用紙に印刷を行って、工事進行状況が分かるようにしておき、後日監督員と打合せのうえ、必要な写真を焼き増しし、アルバム整理する。

## 第 7 節 提出図書

### 1. 施工承諾申請図書

受注者は、契約工事施工に際して、事前に承諾申請図書により発注者の承諾を得てから着工すること。

承諾申請図書と次のものを各2部提出すること。

- (1) 設備機器詳細図
- (2) 施工要領書(搬入要領書、据付要領書)
- (3) 検査要領書
- (4) その他必要な図書

## 2. 完成図書

受注者は、工事竣工に際して、完成図書を提出するものとし、図書は次の通りとする。  
提出部数は、別途指示する。

- (1) 竣工図
- (2) 竣工原図
- (3) 取扱説明書
- (4) 試運転報告書
- (5) 単体機器試験報告書
- (6) 運転操作要領書
- (7) 竣工写真及び工事工程写真

## 第 8 節 検査及び試験

工事に使用する主要機器、材料の検査及び試験は、下記により行う。

### 1. 立会検査及び試験

指定主要機器、材料の検査及び試験は、発注者の立会のもとで行うこと。  
ただし、発注者が特に認めた場合には、受注者が提示する検査(試験)成績表をもってこれに代えることが出来る。

### 2. 検査及び試験の方法

検査及び試験は、予め発注者の承諾を受けた検査(試験)要領書に基づいて行う。

### 3. 検査及び試験の省略

公的、又はこれに準ずる機関の発行した証明書等で成績が確認出来る機材については検査及び試験は省略する場合がある。

### 4. 経費の負担

工事にかかわる検査及び試験の手続きは、受注者において行い、これらに要する経費は受注者の負担とする。

## 第 9 節 正式引渡し

本工事の正式引渡しは、発注者の竣工検査後とする。

本工事竣工後1年以内に受注者の製作、施工及び調整の不良に起因する処理水質の悪化

及び事故が発生した場合は、無償による速やかな修理、又は交換を行い本処理施設の目的が達せられるようにしなければならない。

## 第10節 その他

### 1. 関係法令の遵守

本工事の施工にあたっては、本仕様書並びに設計図書その他、次の関係法令及び諸規則を遵守すること。

- (1) 公害関係法令
- (2) 労働基準法、労働安全衛生規則
- (3) 土木学会コンクリート標準示方書、建築学会標準仕様書
- (4) 建築基準法、消防法、危険物の規則に関する法令
- (5) 電気事業法、電気設備技術基準、内線規定、東北電力(株)電気供給規定
- (6) 日本工業規格、電気規格調査会標準規格、日本電気工業会標準規格
- (7) その他関係法令及び規格

### 2. 許認可申請

工事内容により関係官庁へ許可申請、報告、届出等の必要がある場合には、その手続きは受注者の経費負担により代行するものとする。

本工事に必要な届出申請書及び承諾願図書は、着手前に速やかに作成し、監督員に提出して指示を受けるものとする。

### 3. 施 工

本工事施工に際しては、次の事項を遵守するものとする。

- (1) 労災被害の防止  
工事中の危険防止対策を十分行い、また、労務者への安全教育を徹底し、労務災害の発生が無いように努めること。
- (2) 現場管理  
資材置場、資材搬入路、仮設事務所等については発注者と十分協議し、他の工事への支障が生じないように計画し実施すること。  
また、整理整頓を励行し、災害、盗難等の事故防止に努めること。
- (3) 復 旧  
他の設備、既存物件等の損傷、汚染防止に努め、万一損傷汚染が生じた場合は、受注者の負担で速やかに復旧すること。
- (4) 予備品、工具品  
予備品、消耗品及び工具として必要なものを納入すること。
- (5) 他工事との協議  
本工事に係わる関連工事については、係員の指示により当該工事関係者と協力し、連絡を密にして工事全体の円滑な進捗を図ること。

## 第 2 章 機械設備工事

### 第 1 節 機械設備工事

#### 1. 一般事項

##### (1) 基本条件

- ・ 各構成機器は、施設の性能を発揮するために十分な性能を有し、かつ、適正な余裕をもつものとする。

##### (2) 保守点検に関する事項

- ・ 各機器は、運転、保守の為に必要なスペースを周囲に保つこと。
- ・ 消耗部品は交換が容易な構造とし、かつ、分解に必要なスペースを確保すること。
- ・ 塗装については、耐熱、耐薬品、防蝕、配色等を考慮すること。

##### (3) 安全衛生に関する事項

- ・ 作業環境を良好に保つため、室内は十分な換気が出来ること。

##### (4) 建築物との関連事項

- ・ 振動、衝撃を発生する機器は十分な基礎を設けること。
- ・ 機器類が建屋壁を貫通する場所は、十分な雨仕舞いを行うこと。
- ・ 配管については、勾配、保温、振動等を十分考慮すること。

#### 2. 工所用材料

##### (1) 機械・電気の製造に用いる材料又は部品は、全て次の規格、基準に合格したものでなければならない。

- ・ 日本工業規格 (JIS)
- ・ 電気規格調査会標準規格 (JEC)
- ・ 日本電気工業会標準規格 (JEM)
- ・ 給排水空調設備規格
- ・ し尿浄化槽構造基準、その他関係法令等

##### (2) 機械・電気設備の内、工場で作成するものについては製作図面を作成し、監督員の承諾を得て製作するものとする。

##### (3) 原動機・ポンプ等の汎用製品については、製造工場試験成績表及び合格書等を添付して、監督員の承諾を受けなければならない。

##### (4) 主要機械設備の仕様は、本紙後段の 6. 機器仕様 の通りである。

#### 3. 施 工

##### (1) 機械設備は、下記により全塗装を行うものとするが、ステンレス及び樹脂製品並びに原動機・ポンプ等の汎用製品についてはこの限りではない。

- ・ 露出部 下地処理、錆止め2回塗り、調合ペイント2回塗り
- ・ 水中部 下地処理、タールエポキシ樹脂 (JIS K 5664 2種) 3回塗り

##### (2) 塗装基準、塗装色は下記による。

- ・ 日本下水道事業団機械設備工事必携  
2. 機械設備工事一般仕様書 第4節 塗装



(3) 機械・電気設備の据付配管は、設計図書並びに現場を熟知すると共に疑義を正し、詳細に内容を把握した上で処理施設の性能が充分発揮できるように行わなければならない。

#### 4. 維持管理

当該処理施設の維持管理は、保守点検業者により行われている。  
したがって、受注者は、処理施設がこれらの維持管理の実態に対応し、かつ、安全なものとなるよう努めなければならない。

#### 5. 配管工事

本工事に使用する材料は以下の規格に合ったものとし、規格にない材料は以下の規定に準ずるものとする。

##### (1) 材 料

###### 管類

使用区分		配管仕様	規 格
污水管	管	硬質塩化ビニル管 (VP/VU)	JIS K 6741
		配管用ステンレス鋼鋼管 (SUS304 TP)	JIS G 3459
汚泥管	継手	硬質塩化ビニル管 継手	JIS K 6739 JIS K 6743
		ステンレス鋼管 継手	SAS 352～355
エア管	管	配管用ステンレス鋼鋼管 (SUS304 TP)	JIS G 3459
	継手	ステンレス鋼管 継手	SAS 352～355

###### 弁類

使用区分	弁仕様	規 格
仕切弁	SUS, SCS 10kg/cm <sup>2</sup>	
ボール弁	SUS, SCS 10kg/cm <sup>2</sup>	
玉型弁	SUS, SCS 10kg/cm <sup>2</sup>	
逆止弁	SUS, SCS 10kg/cm <sup>2</sup>	
電動ボール弁	SUS, SCS 10kg/cm <sup>2</sup>	

その他前記の規格に準ずるもの

- ・ 電動弁

##### (2) 塗装及び防錆

ステンレス、合成樹脂の配管及び被覆を行う箇所は塗装しない。

(3) 施 工

- ・ 配管継手は15A～40Aはネジ継手、50A以上は溶接継手とする。
- ・ 配管フランジは、原則としてJIS 10kg/cm<sup>2</sup>・JIS 5kg/cm<sup>2</sup>規格とする。  
(機器等の相フランジは除く)  
それ以外の物を使用する場合は監督員の承諾を受けるものとする。
- ・ 機械、配管設備における溶接及び熱処理の際に発生する酸化スケールが素地を  
損耗することなく除去する酸洗いをを行うものとする。

(4) 水圧・気密試験

- ・ 空気管(試験圧力保持時間 60分以上)  
最高使用圧の1.1倍を原則とし、0.6MPa(6.0kg/cm<sup>2</sup>)以下とする。  
継手部等に石鹼水等を塗布し、漏水の無いことを確認する。
- ・ 排水管又は相当管  
特になし。

6. 機器仕様

本工事に使用する機器設備は次の通りとし、使用にあたっては監督員の承諾を得るものとする。

6-1. 機械設備

(1) 自動荒目スクリーン (修繕)

型 式	自動掻揚式バースクリーン (VC-5型、防臭カバー付き)
製 造 会 社	コミュニューターサービス株式会社
仕 様	目幅50mm 処理量100m <sup>3</sup> /時
電 動 機	0.025kw-3φ-200V-50Hz(冠水型ギヤードモーター)
数 量	1台

交 換 部 品                    スクリーンベルト、上下部軸受、駆動シャフト、下部シャフト、  
上下部ローター、シリコンゴム、ギヤードモーター、ビニル  
シュート、案内板固定金具等及びその他必要なもの。

修 繕 内 容                    ギヤードモーターを含む駆動部主体の部品交換  
防臭カバー、し渣カゴ等は既設品使用

(2) 破砕機 (更新)

型 式	回転ドラム式 (10C コントロール式)	
製 造 会 社	コミュニューターサービス株式会社	
仕 様	Ø254 処理量630～4150m <sup>3</sup> /日	
電 動 機	0.4kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種	
塗 装	製造会社標準塗装	
主要部材質	ケーシング	FC250
	切削歯	SCS.WC
	ドラム	SUS303

付 属 品	電源ケーブル	VCT	10.0m
	菊型フランジジョイント		2個
	補修用塗料(製造会社標準色)		1式
	その他必要なもの		1式
数 量	1台		

更 新 範 囲 破砕機本体、流入・流出単管は既設使用にて再塗装。  
既設アンカーボルトにて固定。

(3) 原水ポンプ No1・2・3 (更新)

型 式	自動接続型水中汚物ポンプ(80DVS53.7+LM65)		
製 造 会 社	株式会社荏原製作所		
仕 様	φ 80mm×0.685m <sup>3</sup> /分×12.0m		
電 動 機	3.7kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種		
塗 装	防食塗装3回塗り		
主要部材質	ケーシング	FC200	
	羽根車	FC200	
	電動機フレーム	FC150	
付 属 品	水中ケーブル	VCT	10m/台
	スライド	FC200	1個/台
	その他必要なもの		1式/台
数 量	3台		

更 新 範 囲 ポンプ本体及びスライド。  
吊上げチェーン、ガイドパイプ等は既設使用。

(4) 水中攪拌ポンプ No1 (更新)

型 式	自動接続型水中ばっ気装置(100DE55.5)		
製 造 会 社	株式会社荏原製作所		
仕 様	空気量100m <sup>3</sup> /時×4.0mH・WL		
電 動 機	5.5kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種		
塗 装	防食塗装3回塗り		
主要部材質	ケーシング	FC200	
	羽根車	FC200	
	電動機フレーム	FC150	
付 属 品	水中ケーブル	VCT	15m 1本
(1台に付)	スライド	FC200	1個
	消音器・弁		1式
	その他必要なもの		1式
数 量	1台		

更 新 範 囲 ポンプ本体及びスライド。

吊上げチェーン、ガイドパイプ、空気吸込み管等は既設使用。

(5) スクリーン槽 (修繕)

型 式	SUS製作品		
形 状	700W×2000L×1465H(架台)		
天板寸法	800W×2100L		
主要部材質	本体	SUS304	
	天板	SUS304	
数 量	1基		

交換部品  
(1基に付)

必要なもの。

修繕内容  
天板(点検蓋)表面の錆落とし。

(6) 自動微細目スクリーン No1 (更新)

型 式	自動掻揚式バースクリーン(NS-800S型)		
製造会社	コミュニューターサービス株式会社		
仕 様	目幅2mm×処理量45.0m <sup>3</sup> /時		
電 動 機	0.025kw 3φ-200V-50Hz(冠水型ギヤードモーター)		
塗 装	製造会社標準塗装		
主要部材質	フレーム	SUS304	
	走行チェーン	SUS304	
	スクリーンバー	ライナイト	
付 属 品	電源ケーブル	VCT	5m/台
	その他必要なもの		1式
数 量	1台		

更新範囲  
スクリーン本体。

(7) し渣脱水機 (更新)

型 式	二軸スクルー式(CP-60型)		
製造会社	コミュニューターサービス株式会社		
仕 様	処理量60ℓ/時		
電 動 機	0.1kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種		
塗 装	製造会社標準塗装		
主要部材質	軸受ブラケット	SUS303	
	脱水ヘッド	SUS304	
	ホッパー	SUS304	

付 属 品 (1台に付)	電源ケーブル	VCT	5m
	標準付属品		1式
	その他必要なもの		1式
数 量	1台		

更新範囲 脱水機本体。  
取付けはスクリーン槽内既設架台使用。

(8) 汚水切替弁No1 (更新)

型 式	電動ボール弁(EK200-4 10UTB)		
製 造 会 社	株式会社キッツ		
仕 様	150A、フルボア型		
電 動 機	55w2φ-200V-50Hz 絶縁E種		
塗 装	製造会社標準塗装		
主要部材質	弁箱	SCS13A	
	ボール	SUS304又はSCS13A	
	ボールシート	ハイパクタイトPTFE	
付 属 品 (1台に付)	ゴムパッキン	150A 10K	2枚
	ボルトナット	M20×65(SUS)	8組
	その他必要なもの		1式
数 量	1台		

更新範囲 弁本体、電動機。  
既設配管に接続据付。

(9) ばっ気攪拌装置 No1・2 (更新)

型 式	水中エアレーター型		
製 造 会 社	新明和工業株式会社 又は 阪神動力機械株式会社		
仕 様	送風量 6.06m <sup>3</sup> /分		
電 動 機	3.7kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種		
塗 装	防食塗装3回塗り		
主要部材質	ケーシング	FC250	
	羽根車	SCS13	
	ディフューザー	SUS304	
	吊り金具	SUS304	
付 属 品 (1台に付)	吊上げチェーン	SUS304	6m/台
	浸水検知器		1個/台
	標準付属品		1式/台
	その他必要なもの		1式/台
数 量	2台		

更新範囲 エアレーター本体。

既設着床スタンドに適合する機種とする。

(10) 上澄水排出装置 No1、No2 (修繕)

型 式	可動堰式 (D-15型)
製 造 会 社	株式会社 西原環境
仕 様	堰長1.5m、排出量36.0m <sup>3</sup> /分・m
電 動 機	0.1kw 3φ-200V-50Hz(インバーター)
塗 装	製造会社標準塗装
数 量	2基
交換部品 (1台に付)	電動シリンダー、軸受、軸継手A、シリンダージャバラ等 その他必要なもの
修 繕 内 容	電動シリンダー・軸継手の交換、駆動部の点検整備。 作業用仮設費を含める。

(11) 汚泥引抜ポンプNo1・2 (更新)

型 式	自動接続型水中汚物ポンプ (80DV52.2+LM80)
製 造 会 社	株式会社荏原製作所
仕 様	φ 80mm×0.482m <sup>3</sup> /分×11.0m
電 動 機	2.2kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種
塗 装	防食塗装3回塗り
主要部材質	ケーシング FC200 羽根車 FC200 電動フレーム FC150
付 属 品 (1台に付)	水中ケーブル VCT 10m スライド FC200 1個 その他必要なもの 1式
数 量	2台
更 新 範 囲	ポンプ本体及びスライド。 吊上げチェーン、ガイドパイプ等は既設使用。

(12) 散水ポンプ (更新)

型 式	自動接続型水中汚水ポンプ (50DS51.5+LMM50)
製 造 会 社	株式会社荏原製作所
仕 様	φ 50mm×0.08m <sup>3</sup> /分×20.0m
電 動 機	1.5kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種
塗 装	防食塗装3回塗り
主要部材質	ケーシング FC200 羽根車 FC200

	電動フレーム	FC150	
付 属 品	水中ケーブル	VCT	10m
(1台に付)	スライド	FC200	1個
	その他必要なもの		1式
数 量	1台		

更 新 範 囲                    ポンプ本体及びスライド。  
吊上げチェーン、ガイドパイプ等は既設使用。

(13) 放流ポンプ No1・2 (更新)

型 式	自動接続型水中汚水ポンプ(100DL55.5 + LL100)		
製 造 会 社	株式会社荏原製作所		
仕 様	φ100mm×1.07m <sup>3</sup> /分×14.0m		
電 動 機	5.5kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種		
塗 装	防食塗装3回塗り		
主要部材質	ケーシング	FC200	
	羽根車	FC200	
	電動フレーム	FC150	
付 属 品	水中ケーブル	VCT	10m
(1台に付)	スライド	FC200	1個
	その他必要なもの		1式
数 量	2台		

更 新 範 囲                    ポンプ本体及びスライド。  
吊上げチェーン、ガイドパイプ等は既設使用。

(14) ばっ気沈砂槽ブロワ (修繕)

型 式	陸上型ヘルカルブロワ (ARH20S)		
製 造 会 社	新明和工業株式会社(他)		
仕 様	φ20mm×0.14m <sup>3</sup> /分×29kPa		
電 動 機	0.4kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種		
塗 装	製造会社標準塗装		
数 量	1台		

交 換 部 品                    圧力計スタンド、高効率Vベルト、その他必要なもの。  
(1台に付)

修 繕 内 容                    既設圧力計をスタンド型に、Vベルトを高効率Vベルトに交換。

(15) 汚泥貯留槽ブロワ No1 (更新)

型 式	陸上型ヘルカルブロワ (ARH80S)		
-----	---------------------	--	--

製造会社	新明和工業株式会社(他)		
仕様	φ 80mm×2.7m <sup>3</sup> /分×54kPa		
電動機	5.5kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種		
塗装	製造会社標準塗装		
主要部材質	ケーシング	FC200	
	ローターシャフト	FCD500	
	タイミングギヤ	SCM415	
付属品 (1台に付)	標準付属品		1式
	Vベルト	高効率ベルト	1組
	圧力計スタンド		1個
	フレキシブルチューブ		1個
	その他必要なもの		1式
数量	1台		
更新範囲	電動機を含むブロワ本体。		

(16) 汚泥貯留槽ブロワ No2 (修繕)

型式	陸上型ヘルカルブロワ (ARH80S)		
製造会社	新明和工業株式会社(他)		
仕様	φ 80mm×2.7m <sup>3</sup> /分×54kPa		
電動機	5.5kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種		
塗装	製造会社標準塗装		
数量	1台		
交換部品 (1台に付)	圧力計スタンド、高効率Vベルト、その他必要なもの。		
修繕内容	既設圧力計をスタンド型に、Vベルトを高効率Vベルトに交換。		

(17) エアリフトブロワ (更新)

型式	陸上型ヘルカルブロワ (ARH50S)		
製造会社	新明和工業株式会社(他)		
仕様	φ 50mm×1.2m <sup>3</sup> /分×44kPa		
電動機	2.2kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種		
塗装	製造会社標準塗装		
主要部材質	ケーシング	FC200	
	ローターシャフト	FCD500	
	タイミングギヤ	SCM415	
付属品 (1台に付)	標準付属品		1式
	Vベルト	高効率ベルト	1組
	圧力計スタンド		1個
	フレキシブルチューブ		1個



数	量	その他必要なもの 1台	1式
---	---	----------------	----

更新範囲 電動機を含むブロワ本体。

(18) 回分槽ブロワ常用 No1・2 (更新)

型	式	陸上型ヘルカルブロワ (ARH80S)
製	造	会社 新明和工業株式会社(他)
仕	様	$\phi 80\text{mm} \times 2.58\text{m}^3/\text{分} \times 54\text{kPa}$
電	動	機 5.5kw 3 $\phi$ -200V-50Hz 絶縁E種
塗	装	製造会社標準塗装
主	要	部
材	質	ケーシング FC200
		ローターシャフト FCD500
		タイミングギヤ SCM415

付	属	品	標準付属品	1式
(1	台	に	付)	
			Vベルト	高効率ベルト
			圧力計スタンド	1個
			フレキシブルチューブ	1個
			その他必要なもの	1式
数	量		2台	

更新範囲 電動機を含むブロワ本体。

(19) 回分槽ブロワ予備 No1・2 (更新)

型	式	陸上型ヘルカルブロワ (ARH80S)
製	造	会社 新明和工業株式会社(他)
仕	様	$\phi 50\text{mm} \times 1.29\text{m}^3/\text{分} \times 54\text{kPa}$
電	動	機 3.7kw 3 $\phi$ -200V-50Hz 絶縁E種
塗	装	製造会社標準塗装
主	要	部
材	質	ケーシング FC200
		ローターシャフト FCD500
		タイミングギヤ SCM415

付	属	品	標準付属品	1式
(1	台	に	付)	
			Vベルト	高効率ベルト
			圧力計スタンド	1個
			フレキシブルチューブ	1個
			その他必要なもの	1式
数	量		2台	

更新範囲 電動機を含むブロワ本体。

- (20) 汚泥貯留槽散気装置 (修繕)
- |                |                       |
|----------------|-----------------------|
| 型式             | 粗大気泡型                 |
| ライザー管          | 32A                   |
| ディフューザー        | 2個/組                  |
| 数量             | 12組                   |
| 交換部品<br>(1組に付) | 32A玉型弁用ハンドル、その他必要なもの。 |
| 修繕内容           | ライザー管接続空気配管の弁ハンドルの交換。 |
- (21) 前処理室排気ファン (更新)
- |               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| 型式            | 軸流ファン(TFD1-55)                     |
| 製造会社          | 旭電業株式会社                            |
| 仕様            | φ 560mm×85.0m <sup>3</sup> /分×16Pa |
| 電動機           | 0.75kw 3φ-200V-50Hz 絶縁E種           |
| 塗装            | 製造会社標準塗装                           |
| 主要部材質         | ケーシング SS400                        |
|               | 羽根車 SPCC                           |
|               | ベルマウス SPCC                         |
| 付属品<br>(1台に付) | 電源ケーブル 4m                          |
|               | パッキン φ 560ダクト用 2枚                  |
|               | その他必要なもの 1式                        |
| 数量            | 1台                                 |
| 更新範囲          | ファン本体。<br>キャンバス継手及び支持具は既設使用。       |
- (22) 槽上部室換気扇No3・4・5(更新)
- |               |   |
|---------------|---|
| 型式            | 有圧換気扇   |
| 仕様            | φ 400mm×2340m <sup>3</sup> /時                             |
| 電動機           | 50w-2φ-100V-50Hz、絶縁E種                                     |
| 塗装            | 製造会社標準塗装  |
| 主要部材質         | ケーシング SPCC  |
|               | 羽根車 SPCC  |
|               | 電源ケーブル ビニルキャブタイヤケーブル                                      |
| 付属品<br>(1台に付) | バックガード 鉄線製 1個   |
|               | その他必要なもの 1式   |
| 数量            | 3台  |
| 更新範囲          | ファン本体、既設取付ボルト使用<br>No4・5は排気角ダクト内取付<br>既設品 : 三菱電機:EG-40BSB |
- (23) ブロワ室換気扇(更新)
- |    |       |
|----|-------|
| 型式 | 有圧換気扇 |
|----|-------|

仕様	φ 450mm×5400m <sup>3</sup> /時
電動機	40w-2φ-100V-50Hz、絶縁E種
塗装	製造会社標準塗装
主要部材質	ケーシング SPCC 羽根車 SPCC 電源ケーブル ビニルキャブタイヤケーブル
付属品 (1台に付)	バックガード 鉄線製 1個 風圧シャッター 1個 その他必要なもの 1式
数量	1台
更新範囲	ファン本体、既設取付ボルト使用 既設品 :三菱電機:EF-45ESB

(24) 消毒槽排気ファン (更新・型式変更)

型式	耐蝕軸流ファン(GDF200)
製造会社	セイコー化工機株式会社
仕様	φ 200mm×300.0m <sup>3</sup> /時×0.03kPa
電動機	25w-100V-50Hz、(専用特殊電動機)
主要部材質	ケーシング FRP 羽根車 FRP モーター架台 SS400
付属品	PVCフレキ継手(F・200φ×220φ×300L) 2個 取付部材(パッキン・バンド・ボルトナット) 1式 支持金具(SUS304) 1式 その他必要なもの。 1式
数量	1台
更新範囲	ファン本体・防振継手及びファン支持具。

(25) 点検蓋 (修繕)

型式	FFU(合成木材)
製造会社	積水化学工業株式会社
板厚	15mm
設置枚数	38組
交換部品 (1組に付)	落下防止チェーン(1個)、取手(48個)、その他必要なもの。
修繕内容	流量調整槽 :落下防止チェーン取付 汚泥貯留槽 :蝶番修正 消毒・放流室内 :取手交換

## 参 考 資 料

この「参考資料」は、入札参加者の適正かつ迅速な見積りに資するための資料であり、建設工事請負基準約款第1条にいう設計図書ではない。

従って、「参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、請負者は施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等工事目的物を完成するための一切の手段について請負者の責任において定めるものとする。

## 上越市発注建設工事における市内下請及び資材発注について

### 第1 下請発注について

請負者は、本建設工事の施工に当たり、工事の一部を下請企業に請け負わせて施工しようとする場合には、下請企業を上越市内企業の中から選定するよう努めるものとする。

### 第2 建設資材発注について

請負者は、本建設工事の施工に当たり、建設資材を発注しようとする場合には、納入企業を上越市内企業の中から選定するよう努めなければならない。

また、上越市産資材がある場合には、他に優先して使用するよう努めるものとする。





第 号

## II-A.機械設備機器費明細書

内 訳

種別	種 目	材 料 労 力	寸 法			単 量	員数	全 量	単位	単 価	金 額	摘 要
			長	巾	厚・径							
更新・新設機器関係												
M-1	破砕機	回転ドラム式	φ 254 処理量630~4150m <sup>3</sup> /日×0.4kw			1		1	台			見積単価表
M-2	原水ポンプ No 1・2・3	水中汚水汚物ポンプ 自動接続型	φ 80×0.685m <sup>3</sup> /分×12.0mH×3.7kw			3		3	台			見積単価表
M-4	水中攪拌ポンプ No 1	水中 ばっ気装置	空気量100.0m <sup>3</sup> /時×4.0mH×5.5kw			1		1	台			見積単価表
M-5	自動微細目スクリーン No 1	自動掻揚式 バースクリーン	目幅2mm 処理量45m <sup>3</sup> /時×0.025kw			1		1	台			見積単価表
M-6	し渣脱水機	二軸 スクリー型	処理量60ℓ/時×0.1kw			1		1	台			見積単価表
M-7	汚水切替弁 No 1	電動式	電動ボール弁 150A 200V- 85w			1		1	台			見積単価表
M-8	ばっ気攪拌装置 No 1・2	水中 エアレーター型	吐出量6.06Nm <sup>3</sup> /分×3.7kw			2		2	台			見積単価表
M-9	汚泥引抜ポンプ No 1・2	水中汚水汚物ポンプ 自動接続型	φ 80×0.482m <sup>3</sup> /分×11.0mH×2.2kw			2		2	台			見積単価表
M-10	散水ポンプ	水中汚水ポンプ 自動接続型	φ 50×0.08m <sup>3</sup> /分×20.0mH×1.5kw			1		1	台			見積単価表
M-11	放流ポンプ No 1・2	水中汚水ポンプ 自動接続型	φ 100-150×1.07m <sup>3</sup> /分×14.0mH×5.5kw			2		2	台			見積単価表
M-12	汚泥貯留槽ブロワ No 1	陸上型 ヘルカリブロワ	φ 80×2.7m <sup>3</sup> /分×54kPa×5.5kw			1		1	台			見積単価表
M-13	エアリフトブロワ	陸上型 ヘルカリブロワ	φ 50×1.2m <sup>3</sup> /分×44kPa×2.2kw			1		1	台			見積単価表
M-14	回分槽ブロワ 常用 No 1・2	陸上型 ヘルカリブロワ	φ 80×2.58m <sup>3</sup> /分×54kPa×5.5kw			2		2	台			見積単価表
M-15	回分槽ブロワ 予備 No 1・2	陸上型 ヘルカリブロワ	φ 50×1.29m <sup>3</sup> /分×54kPa×3.7kw			2		2	台			見積単価表
M-20	前処理室排気ファン	軸流ファン 耐食型	φ 550×85m <sup>3</sup> /分×16Pa×0.75kw			1		1	台			見積単価表
M-21	槽上部室換気扇	有圧換気扇	φ 400×2340m <sup>3</sup> /時×60w-100v			3		3	台			見積単価表
M-22	消毒槽排気ファン	軸流ファン 耐食性	φ 200×5m <sup>3</sup> /分×30Pa×25w-100v			1		1	台			見積単価表
M-23	ブロワ室換気扇	有圧換気扇	φ 450×5400m <sup>3</sup> /時×400w-100v			1		1	台			見積単価表
	小 計											
修繕機器関係												
M-25	自動荒目スクリーン	バースクリーン 自動掻揚式	目幅50mm 処理量100m <sup>3</sup> /時×0.025kw			1		1	台			見積単価表

修繕機器は材工共(輸送費含む)

















数 量 計 算 書



機器等据付工調書（更新・新設工）

(1/2)

名 称	分類	単位重量 (t/単位)	数量	歩 掛		据 付 工		運搬重量(t)		(歩掛算定式)	備 考
				人/単位	補正率	据付工	設備機械工	小構造物	一般製品		
破砕機	1	0.450	1		1.0				0.450		人工 少数第3位四捨五入
原水ポンプ No1・2・3	2	0.060	3		1.0				0.180		〃
非常用エンジンポンプ											
水中攪拌ポンプ	2	0.121	1		1.0				0.121		〃
自動微細目スクリーンNo1	2	0.022	1		1.0				0.022		〃
し渣脱水機	6	0.050	1		1.0				0.050		〃
汚水切替弁No1	2	0.083	1		1.0				0.083		〃
ばっ気攪拌装置No1・2	2	0.460	2		1.0				0.920		〃
汚泥引抜ポンプNo1・2	2	0.070	2		1.0				0.140		〃
散水ポンプ	2	0.025	1		1.0				0.025		〃
放流ポンプNo1・2	2	0.123	2		1.0				0.246		〃
脱離液ポンプ											
汚泥貯留槽ブロワNO.1	1	0.208	1		1.0				0.208		〃
エアリフトブロワ	1	0.108	1		1.0				0.108		〃
回分槽ブロワ常用No1・2	1	0.208	2		1.0				0.416		〃
回分槽ブロワ予備No1・2	1	0.116	2		1.0				0.232		〃
可搬式ポンプ(キャスター付き)											
小 計 (1)									3.201		

機器等据付工調書（更新・新設工）

(2/2)

名 称	種別	単位重量 (t/台)	台数	歩 掛		据 付 工		運搬重量(t/台)		(歩掛算定式)	備 考
				人/台	補正率	据付人工	設備機械工	小構造物	一般製品		
可搬式ポンプ(ハンディー型)											
脱臭ファン											
前処理室排気ファン	2	0.070	1		1.0				0.070		人工 少数第3位四捨五入
槽上部室換気扇	2	0.014	3		1.0				0.042		〃
ブロワ室換気扇	2	0.019	1		1.0				0.019		〃
消毒槽排気ファン	2	0.013	1		1.0				0.013		〃
便所換気扇											
小 計 (2)									0.144		
合 計 (小計(1)+(2))									3.345		RI農業集落排水積算指針
据付工				(×0.9)		人				人工 少数第4位四捨五入	p.117
普通作業員				(×0.1)		人	機器重量	3.345 ton		人工 少数第3位四捨五入	p.117
設備機械工						人					

機器等据付工調書（撤去・処分工）

(1/2)

名 称	分類	単位重量 (t/単位)	数量	歩 掛		据 付 工		運搬重量(t)		(歩掛算定式)	備 考
				人/単位	補正率	据付工	設備機械工	小構造物	一般製品		
破砕機	1	0.450	1		1.0				0.450	12.2X^0.711	人工 少数第3位四捨五入
原水ポンプ No1・2・3	2	0.060	3		1.0				0.180	4.8X^0.776	"
非常用エンジンポンプ											
水中攪拌ポンプ	2	0.121	1		1.0				0.121	4.8X^0.776	"
自動微細目スクリーンNo1	2	0.022	1		1.0				0.022	4.8X^0.776	"
し渣脱水機	6	0.050	1		1.0				0.050	7.5X	"
汚水切替弁No1	2	0.083	1		1.0				0.083	4.8X^0.776	"
ばっ気攪拌装置No1・2	2	0.460	2		1.0				0.920	4.8X^0.776	"
汚泥引抜ポンプNo1・2	2	0.070	2		1.0				0.140	4.8X^0.776	"
散水ポンプ	2	0.025	1		1.0				0.025	4.8X^0.776	"
放流ポンプNo1・2	2	0.123	2		1.0				0.246	4.8X^0.776	"
脱離液ポンプ											
汚泥貯留槽ブロワNO.1	1	0.208	1		1.0				0.208	12.2X^0.711	"
エアリフトブロワ	1	0.108	1		1.0				0.108	12.2X^0.711	"
回分槽ブロワ常用No1・2	1	0.208	2		1.0				0.416	12.2X^0.711	"
回分槽ブロワ予備No1・2	1	0.116	2		1.0				0.232	12.2X^0.711	"
可搬式ポンプ(キャスター付き)											
小 計 (1)									3.201		

機器等据付工調書（撤去・処分工）

(2/2)

名 称	種別	単位重量 (t/台)	台数	歩 掛		据 付 工		運搬重量(t/台)		(歩掛算定式)	備 考
				人/台	補正率	据付人工	設備機械工	小構造物	一般製品		
可搬式ポンプ(ハンディー型)											
脱臭ファン											
前処理室排気ファン	2	0.070	1		1.0				0.070	4.8X^0.776	人工 少数第3位四捨五入
槽上部室換気扇	2	0.014	3		1.0				0.042	4.8X^0.776	"
ブロワ室換気扇	2	0.019	1		1.0				0.019	4.8X^0.776	"
消毒槽排気ファン	2	0.013	1		1.0				0.013	4.8X^0.776	"
便所換気扇											
小 計 (2)									0.144		
合 計 (小計(1)+(2))									3.345		R1農業集落排水積算指針
据付工						-	人				
普通作業員				(×0.1)×0.4		人	機器重量	3.345 ton	人工 少数第3位四捨五入		p.117
設備機械工				(×0.9)×0.4		人			人工 少数第3位四捨五入		p.117

## 見積単価表

頸城中部地区農業集落排水処理施設機能強化対策工事

P.1

コード	品名	部材及び規格	単位	単価(円)
M-1	破砕機	回転ドラム式 φ254 処理量630~4150m <sup>3</sup> /日 × 0.4kw	台	4,774,000
M-2	原水ポンプ No 1・2・3	自動接続型水中汚水汚物ポンプ φ80 × 0.685m <sup>3</sup> /分 × 12.0mH × 3.7kw	台	432,100
M-4	水中攪拌ポンプ No 1	水中ばっ気装置 空気量100.0m <sup>3</sup> /時 × 4.0mH × 5.5kw	台	756,600
M-5	自動微細目スクリーン No 1	自動掻揚式バースクリーン 目幅2mm 処理量45m <sup>3</sup> /時 × 0.025kw	台	702,000
M-6	し渣脱水機	二軸スクルー型 処理量60ℓ/時 × 0.1kw	台	2,808,000
M-7	汚水切替弁 No 1	電動式 電動ボール弁 150A 200V- 85w	台	727,000
M-8	ばっ気攪拌装置 No 1・2	水中エアレーター型 吐出量6.06Nm <sup>3</sup> /分 × 3.7kw	台	4,500,000
M-9	汚泥引抜ポンプ No 1・2	自動接続型水中汚水汚物ポンプ φ80 × 0.482m <sup>3</sup> /分 × 11.0mH × 2.2kw	台	475,100
M-10	散水ポンプ	自動接続型水中汚水ポンプ φ50 × 0.08m <sup>3</sup> /分 × 20.0mH × 1.5kw	台	285,500
M-11	放流ポンプ No 1・2	自動接続型水中汚水ポンプ φ100-150 × 1.07m <sup>3</sup> /分 × 14.0mH × 5.5kw	台	664,200
M-12	汚泥貯留槽ブロワ No 1	陸上型ヘルカリブロワ φ80 × 2.7m <sup>3</sup> /分 × 54kPa × 5.5kw	台	1,329,200
M-13	エアリフトブロワ	陸上型ヘルカリブロワ φ50 × 1.2m <sup>3</sup> /分 × 44kPa × 2.2kw	台	827,200
M-14	回分槽ブロワ常用 No 1・2	陸上型ヘルカリブロワ φ80 × 2.58m <sup>3</sup> /分 × 54kPa × 5.5kw	台	1,329,200
M-15	回分槽ブロワ予備 No 1・2	陸上型ヘルカリブロワ φ50 × 1.29m <sup>3</sup> /分 × 54kPa × 3.7kw	台	866,600
M-20	前処理室排気ファン	耐食型軸流ファン φ550 × 85m <sup>3</sup> /分 × 16Pa × 0.75kw	台	330,000

## 【留意事項】

本単価表は、公共工事の工事費の積算に用いるため、上越市の独自の調査に基づき定めた材料単価を記載したものであり、個々の契約における単価を拘束するものではありません。

コード番号は、本設計のみに有効であり、他の設計において同規格の資材を採用していても、コード番号が変更されている場合がある。

## 見積単価表

頸城中部地区農業集落排水処理施設機能強化対策工事

P.2

コード	品名	部材及び規格	単位	単価(円)
M-21	槽上部室換気扇	有圧換気扇 φ400×2340m <sup>3</sup> /時×60w-100v	台	113,800
M-22	消毒槽排気ファン	耐食性軸流ファン φ200×5m <sup>3</sup> /分×30Pa×25w-100v	台	585,500
M-23	ブロワ室換気扇	有圧換気扇 φ450×5400m <sup>3</sup> /時×400w-100v	台	142,000
M-25	自動荒目スクリーン(修繕)	自動掻揚式バースクリーン 目幅50mm 処理量100m <sup>3</sup> /時×0.025kw	台	729,800
M-28	スクリーン槽(修繕)	SUS製作品 700W×2000L×1465H	基	290,000
M-29	上澄水排出装置 No 1・2(修繕)	可動堰式 堰長1.5m 排出量36m <sup>3</sup> /時×0.4kw	基	3,313,400
M-31	迂流板(修繕)	PVC板加工製作品 2490W×1100H×8t 3枚	基	483,000
M-32	ばっ気沈砂槽ブロワ(修繕)	陸上型ヘルカリブロワ φ20×0.14m <sup>3</sup> /分×29kPa×0.4kw	台	285,000
M-33	汚泥貯留槽ブロワ No 2(修繕)	陸上型ヘルカリブロワ φ80×2.7m <sup>3</sup> /分×54kPa×5.5kw	台	542,000
M-34	汚泥貯留槽散気装置 No 1・2(修繕)	吊下げ型 ディフューザー 200ℓ/分 25A ライザー管32A	組	46,200
M-36	点検蓋(修繕)	合成木材 各水槽・水路点検口寸法合わせ	式	563,000

## 【留意事項】

本単価表は、公共工事の工事費の積算に用いるため、上越市の独自の調査に基づき定めた材料単価を記載したものであり、個々の契約における単価を拘束するものではありません。

コード番号は、本設計のみに有効であり、他の設計において同規格の資材を採用していても、コード番号が変更されている場合がある。